

5班 ロココ



ロココ様式の特徴は優美な空間を生み出すことです。「ロココ」という名称は貝殻や石などで飾った岩を意味する「ロカイユ」という言葉に由来しています。明るく軽快なパステル調が特徴的です。

一体目は、フラゴナールのこの華やかな絵画をイメージにしました。二体目は、ロココ時代の女性のファッションと男性のファッションを融合させた、優雅なパンツスタイルです。





シルクは伸びやすくすぐはずれるので、きれいに縫うのが難しかったです。フリルにギャザーを入れてひらひらにしました。トップスに均等な幅でフリルを縫い合わせることが特に難しく時間がかかりました。手袋は、手首からひじの辺りにボリュームをつけてロココっぽく仕上げました。



最初にボンネットは、ボリュームを出すためにボンネットにし、レースやリボンを用いることで豪華さを演出しました。次にコルセットは、ドレスの特徴である細いウエストを表現するためにタイトなデザインにし、パールの装飾で豪華さを演出しました。最後にネックレスは首元もゴージャスにするためにパールを用いました。



カバンの制作で柄染めをし、ストッキングでは染めた布をお花型に切り取り縫い付けました。スマホケースは、衣装の色に合わせて糸を染色し、張り付けました。

特に工夫したのが、カバンの持ち手の周辺に白のビーズを縫い付け、よりロココ感ができるようにしました。



ロココ時代は、豪華で大きい帽子がはやったので、今回制作したベレー帽はトップクラウンを通常より大きくしました。そして、サイドクラウンのバックに大きいリボンを装飾しました。イヤリングは、2体目のパンツスタイルの象徴である『水色』を意識してアクセントになるよう存在感あるように制作しました。



作品のイメージが水色のグラデーションでバルーンパンツになるように製作しました。ズボンの裾にギャザーとフリルを入れて、なるべくふんわりした可愛らしいパンツになるようにしました。トップスが暗めな色なので、結構明るいきれいなブルーを選び、上から下にかけてきれいなグラデーションになるように工夫しました。



私の中で、ロココ時代といえ
ばベルサイユの薔薇というイメ
ージがあり、薔薇の柄を入れよ
うと思いました。また、ロココ
時代の洋服はレースなどが多く
使われているので、襟や裾部分
にフリルを施し再現し、シルエ
ットなど現代風にデザインしま
した。



ロココと聞いたとき、ドレスはすぐに出てきたのですがどのようなドレスにするか、色々アイデアが浮かんできてとても悩みました。ボリューム感のあるものもあれば、ワンピースのようなすっきりとしたものもありました。グループで話し合い、ワンピースに決まり、そこから華やかさを付け加えるために花を作って付けました。